様式３(2015.06改)

作成日　平成30年12月1日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392000440
事業所名	愛の家グループホーム豊橋牛川薬師町

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	中学校の職業体験・福祉体験は各校4名として上限を定めていますが、5月あたりから毎月述べ10校近くが予定されており、大学生の単位履修における生活介護ボランティアも受け入れていて、利用者も生徒のためにデザートを作るなどしてもてなしています。また畑の耕作では「こうするといいよ」と地域から助言が入り、公園の施設管理者にも「手伝いますよ」とこちらからも気軽に接し、戸外活動が日常に溶け込んでいます。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	自治会長と副会長、民生委員、地域包括支援センター職員が顔を揃えて、隔月開催が叶っています。当事業所が得意な行事活動を紹介、アピールする場としても大いに活用され、秋祭りにはフランクフルト100本、フライドポテト5㌔、焼きそば24人前、おでん大鍋2つ、たい焼き60尾があっという間になくなる成果に結ばれています。家族は年間で数名程度の出席ですが、近くの福祉施設や同法人の他事業所からも参加があります。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	
	本年4月から東三河広域連合が保険者となり、手段がこれまでとは替わっています。例えば「郵送してください」「窓口に届けてください」と、書類の届け方も指定があり、事業所では初めてのことで戸惑いはあるものの何とか諸所間に合うよう努めています。市役所並びに東三河広域連合、地域包括支援センターとは都度報連相をおこない、事業所の実情をタイムリーに伝えています。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	
	以前課題としてた散歩をはじめとする日常的な外出支援については面会時に努めて伝達し、各ユニットで作成する『ひだまり・ぬくもり新聞』にも常の様子を写真とともに掲載報告することで、家族から「ありがとう」「よくやっていてくれるよね」と好評価の言葉が届いています。一方で清掃の方法などの苦言も挙がっており、風通しのよい関係にあることが覗えます。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	―	―	―	―	―	―	―	―	○	○	